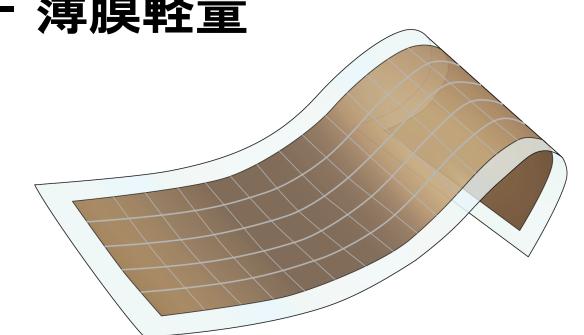


# 低コスト・高耐久な ダイヤモンドライクカーボン太陽電池

太陽電池の普及と用途拡大に向けて

#### 【DLC太陽電池の特長】

一薄膜軽量



形状がフレキシブルで、適用範囲が広い

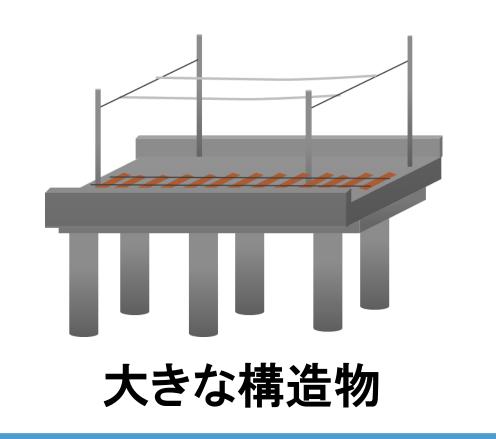
ITO層 ー バンドギャップ制御 (透明電極) 太陽光 DLC層 短波長光

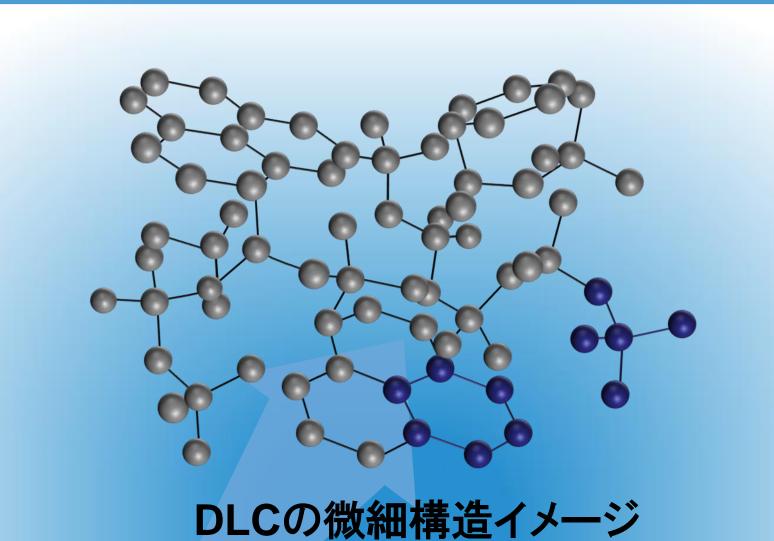
を吸収

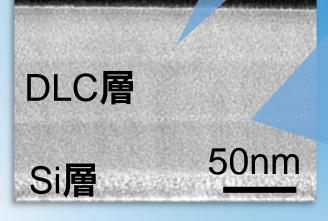
透明中間層 長波長光 第2 pn層 (バンドギャップ小) を吸収

多接合化による高効率化

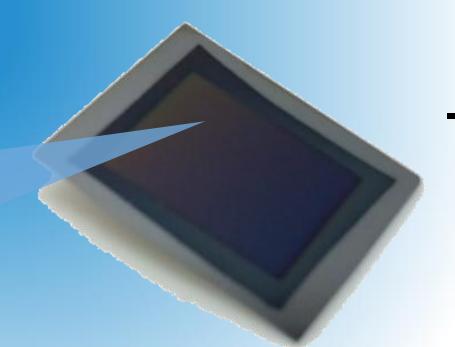
第1 pn層 (バンドギャップ大)







DLC太陽電池断面TEM像



作製したデバイス例

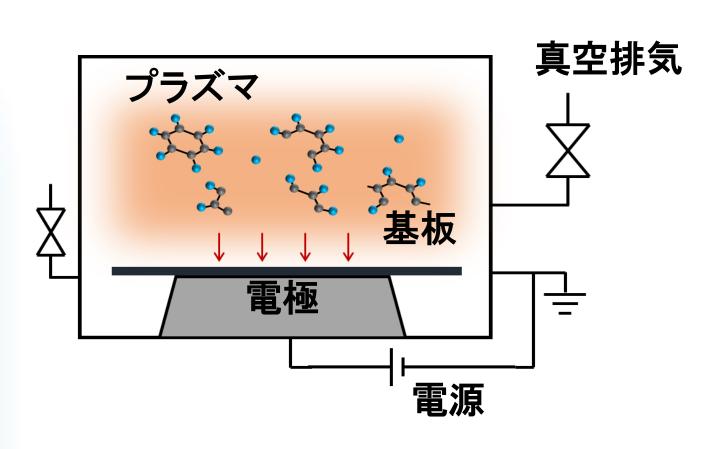
## DLC太陽電池の開発

DLC太陽電池による発電用途の拡大 高い耐久性 環境調和性 低コスト

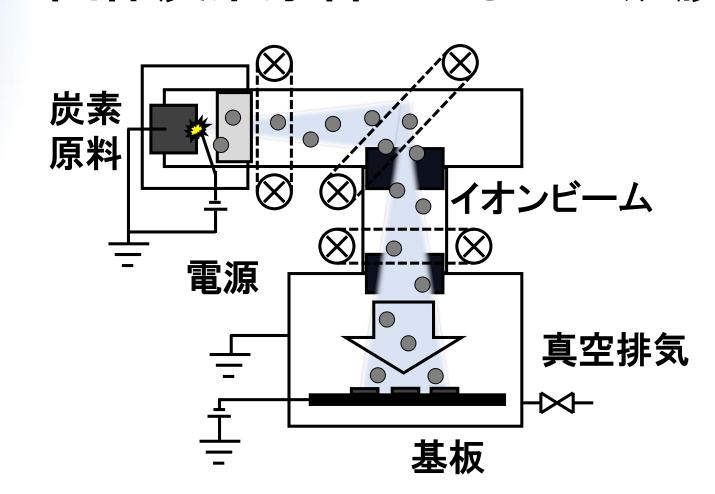
薄膜軽量、高耐久性、環境調和性を活かし あらゆる場面での発電に応用

#### 【DLC太陽電池の作製方法】

- 炭化水素ガスによるCVD成膜



- 固体炭素原料によるPVD成膜



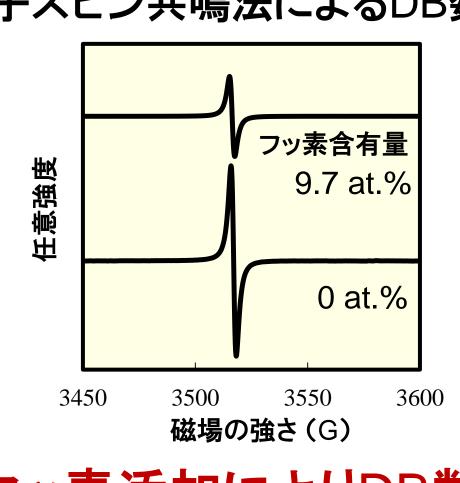


#### 【フッ素添加DLC太陽電池の開発】

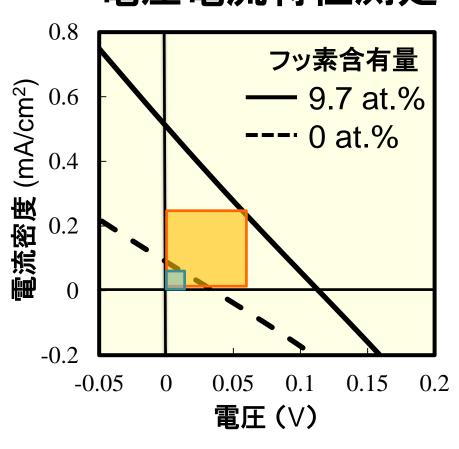


ダングリングボンド(DB):ドーピング効果を妨害し、変換効率を低下させる

電子スピン共鳴法によるDB数測定

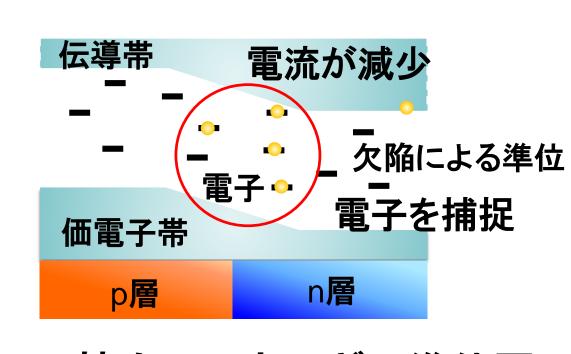


電圧電流特性測定 フッ素含有量 — 9.7 at.%



フッ素添加によりDB数が減少し、変換効率が向上

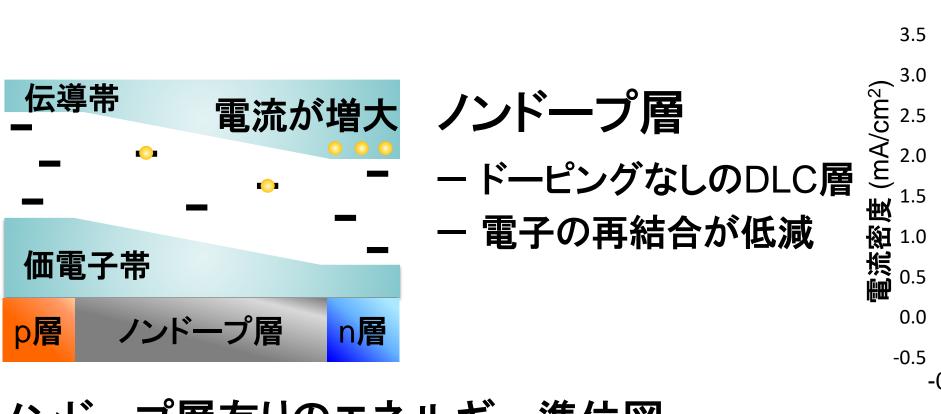
### 【pin構造太陽電池の開発】



#### 非晶質半導体の欠点

- ードーピングによる欠陥準位の発生
- 一 電子の流れが欠陥準位で妨げられる

pn接合のエネルギー準位図



ー ノンドープ層有 --・ノンドープ層無

0.1

**電圧(V)** 

電圧電流特性測定

0.2 0.3

ノンドープ層有りのエネルギー準位図

ノンドープ層の導入により変換効率が大幅に向上

研究者名

慶應義塾大学理工学部機械工学科 教授/ 鈴木 哲也\*1 ナノテック株式会社/平塚 傑工\*2

お問合せ先

\*1 Tel: 045-566-1509/ Email: tsuzuki@mech.keio.ac.jp \*2 Tel: 04-7135-6126/ Email: hiratsuka@nanotec-jp.com